



台車使用時の注意点

今回のトピックス

8月が終わり、残暑はありますが少しずつ気温が下がり過ごしやすい季節に変わりつつあります。皆様は猛暑の疲れは出ていませんか。引き続き体調管理にご留意いただき、安全作業を心掛けましょう。さて、今回のテーマは荷物を運ぶ資機材としてよく使用される「台車」についてです。事故事例を共有する事とともに皆様の現場も事故が起こらないように再度見直していただきたいという趣旨で展開致します。

① 台車が強風で車道まで動き車両に衝突した事例

2021年8月30日(月)に清掃スタッフが建物1階屋外に運んできた台車を置き、ゴミの仕分け作業を行った際、台車が強風に煽られ、目を離している間に車道まで移動し、走行していた軽自動車に衝突しました。車両内は運転手1人で幸いにもケガはありませんでしたが、車両左側面が損傷し、車両の修理をする事となりました。

【事故発生の原因】

車輪にストッパーの無い台車を置き、車輪の向きが車道側であった為、予測していなかった強風が吹いた事により発生した事故事例となります。

② 台車使用時のリスク

- ・車輪がついている為、ストッパーや固定をしないで放置すると傾斜や風などで台車は動いてしまいます。
- ・荷物を載せられる為、便利ではありますが、運ぶ際は足元の視界が悪くなる為、壁や扉にぶつかる危険性があります。
- ・荷物を載せすぎてしまうと動かすときに力がかかりバランスを崩す危険性があります。
- ・頑丈な作りである為壊れにくいですが、壁などにぶつけてしまうと破損する可能性が非常に高いです。

【予防対策】

- ・台車を止める時は車輪が動かないように固定しましょう。
- ・台車の荷物は積み過ぎに注意し、運ぶ際はぶつけるリスクがありますので足元と前方に注意して動かしましょう。
- ・台車の角にクッション材を取り付けるなどして壁の破損を防止しましょう。